

2026年(令和8年)7月3日(金曜日)

大 要綱改正し組織一本化

ロボットコンソーシアム

館 ロボット40台を新調

将来のものづくり人材を育てる「おおだてロボット人材育成コンソーシアム」は1日、大館市の秋田職業能力開発短期大学校で総会を開き、組織内に設けていた実行委員会と一本化する設置要綱改正案などを承認した。役員・実行委員は委員に統一し、委員長に藤盛公之さん(大館商工会議所副会頭)を選出した。ロボット教室・大会(8月22日)を盛り込んだ本年度事業計画も決めた。

県北地域ロボット人材育成実行委員会として2013年度に発足。組織改編で17年度にコンソーシアムとなった。市内の商工団体、金融機関、教育委員会、短大などで構成する。委員や同短大の職員ら20人が出席。藤盛委員長は「将来を担う子どもたちのために何ができるか真剣に考えていきたい。ものづくりの体験と論理的思考力を養うことで、優秀な子どもたちを育ていく」と述べた。



のロボットが老朽化して動作に入したことを報告した。26年に不具合が発生していたた度事業計画では、ロボット教め、新しいロボット40台を購室・大会の概要を説明。同短大を会場に開催し、初級20人、中級10人で募集する。大館少年少女発明クラブのロボット教室(12月5日)も予定している。

設置要綱改正案などを承認した総会(秋田職業能力開発短期大学校)